

第72回 ここからカフェ九品仏

落語と手品

笑う門には福来る。
笑っていい友作りましょう

日時：2024年3月23日(土)
13:30～15:30

会場：九品仏複合施設 3階

講師：金令舎十八さん
落語評論家・社会人落語家・著述業

参加費：300円 ※要予約
申し込み：090-3961-8514 (湯澤)

第97回 お隣さまお茶会

セルフハンドマッサージを 体験しましょう

日時：2024年3月11日(月)
13:30～15:30

会場：スペースえんがわ inn

講師：西松恭子さん
参加費：500円 ※要予約
申し込み・問い合わせ

03-3721-8699
玉川まちづくりハウス

第46回 玉田シニアサロン

赤堤町会の防災活動に学ぶ

講師 井上文さん
NPO法人 SHAS 代表理事
(セタガヤオルタナティブハウジングサポート)

日時：2024年3月3日(日)
14:00～16:00

会場：玉川田園調布会館
参加費：500円

お申し込み・お問い合わせ
03-3721-8699
玉川まちづくりハウス

ハウスの会員数

特別正会員 5名
正会員 27名
ニュース会員 68名

3月号にかかわったひと

伊藤雅春 染野和夫
高橋阿貴 小西玲子
柴田希美絵 昆野敬子

ハウススケジュール フレイバック

2

今年度、予定ではなく、記録としてお届けします。
予定・詳細はHP <https://tamamati.com/>にてご確認ください

- 1日(木) 楽多の会定例会 / デイ・ホーム玉川田園調布
- 2日(金) 住宅まちづくり総合相談 / 砦総合支所
- 8日(木) 住宅まちづくり相談ネットワーク会議 / 世田谷区役所
- 住宅まちづくり総合相談 / 玉川総合支所
- 9日(金) 玉川まちづくりハウス定例運営委員会 / スペースえんがわ inn
- 11日(日祝) 玉田シニアサロン / 玉川田園調布会館
- 14日(水) プレーリヤカーでの公園遊び / 奥沢(タイヤ)公園
- 17日(土) ここからカフェ九品仏 vol.71 / 九品仏複合施設 3階
- 18日(日) タマデンmarche / アビターレ前
- 19日(月) お隣さまお茶会 vol.96 / スペースえんがわ inn
- 20日(火) プレーリヤカーでの公園遊び / ねこじゃらし公園
- 21日(水) 街角保健室@おひさま日和 / スペースえんがわ inn
- 22日(木) 住宅まちづくり総合相談 / 玉川総合支所
- せたがや防災 NPO アクション事務局会議 / オンライン
- 25日(日) 街角保健室@スペース B / スペースえんがわ inn
- 29日(木) 街角保健室ハートフルサロン「kotori」 スペースえんがわ inn

3

ハウスカレンダー

- 3日(日) 玉田シニアサロン 14:00～16:00 玉川田園調布会館
- 7日(木) 楽多の会定例会 10:30～12:00 デイ・ホーム玉川田園調布
- 8日(金) 玉川まちづくりハウス定例運営委員会 9:30～11:00 スペースえんがわ inn
- 11日(月) 住宅まちづくり総合相談 13:30～15:30 世田谷区役所
- お隣さまお茶会 vol.97 13:30～15:30 スペースえんがわ inn
- 13日(水) プレーリヤカーでの公園遊び 10:00～12:30 奥沢(タイヤ)公園
- プレーリヤカーでの公園遊び(ねこじゃらし公園) 10:00～12:30 ねこじゃらし公園
- 街角保健室@おひさま日和 13:30～15:30 スペースえんがわ inn
- 14日(木) 住宅まちづくり総合相談 13:30～15:30 玉川総合支所
- 17日(日) タマデンmarche 11:00～15:00 予定 アビターレ前
- 23日(土) 街角保健室報告会 未定 スペースえんがわ inn
- ここからカフェ九品仏 Vol.72 13:30k～15:30 九品仏複合施設 3階
- 24日(日) 街角保健室@スペース B 13:30～15:30 スペースえんがわ inn
- 28日(木) 住宅まちづくり総合相談 13:30～15:30 玉川総合支所
- せたがや防災 NPO アクション事務局会議 18:00～20:00 オンライン
- 街角保健室ハートフルサロン「kotori」 13:30～15:00 スペースえんがわ inn

松方路子さま ご寄付をありがとうございました。

ハウスの最新の情報はHPをごらんください



HP: <https://tamamati.com>

玉川まちづくりハウスニュース

みんなでホイッ!

3
2024

発行 特定非営利活動法人玉川まちづくりハウス

〒158-0085
東京都世田谷区玉川田園調布2-11-10 Email house@tamamati.com
tel.03-3721-8699 fax.03-3721-8986 URL <https://tamamati.com>

玉川まちづくりハウスは、住民主体のまちづくりをお手伝いする特定非営利活動法人(NPO法人)です。

「まちと暮らしのチカラ展」と玉川まちづくりハウス 伊藤雅春

「まちづくり」という言葉が広く世の中の人々に知れ渡りようになった1970年代。世田谷区では住民参加を掲げ、まちづくりや公共施設の整備が進められました。よりよい地域づくりには区民の参加が不可欠として、1990年代以降、区民のさまざまなまちづくりの活動を支援するしくみが生まれ、その中で玉川まちづくりハウスも生まれました。「まちづくり」はどのように発達し、何を残してきたのでしょうか。そして地域の人々の「まちと暮らし」をどう豊かにしてきたのでしょうか。

世田谷区が特別区となり区長公選になったのが1975年。それから50年経過した。



展示会に先立つ内覧会
保坂区長挨拶

この50年の、世田谷区の参加のまちづくりの歩みが三軒茶屋の世田谷文化生活情報センター(キャロットタワー内)で、展示されている。

会場は5つのコーナーから構成されていた。

- ①まちづくりの空間
 - ②地形と都市計画
 - ③グラフィックデザインと都市デザイン
 - ④ワークショップと道具箱
 - ⑤市民のデザイン
- である。

玉川まちづくりハウスとの関わりでいえば、ハウスが活動を始めたのが1991年、今年で33年になるのでこの展示の50年という時間の半分以上を共に歩んできたことになる。とりわけ、④ワークショップと道具箱のコーナーには、ねこじゃらし公園ワークショップと参加の道具箱の展示が中心に据えられていて、世田谷のまちづくりの歴史の1ページを玉川まちづくりハウスの活動が作り出したことが明確に現されているのだと思うと感慨深いものがあった。

個人的には、宮の坂駅舎のコンペにおいて

区長賞を受賞した僕たち(FAG205という名のグループ)の作品が今は亡き野沢正光さん*の作品の隣に展示されていたことにいささか当惑した。この時の受賞式が林泰義さんとの運命的な出会いだったこともあり、この展示には特別な思いがある。



宮の坂駅舎コンペ 区長賞についての展示

昨年暮れに87歳で急逝された林泰義さん、50年前は37歳だったことになる。世田谷のまちづくりの50年の歴史はそのまま林さんの人生に重なる展示なのだ実感した。一言で言えば林さんのまちづくりに対する思いと成果をそのまま見ることができる展示会と言える内容だ。

その中で、一番密度の高い活動が行われていた頃、玉川まちづくりハウスが生まれ育ったことを改めて認識することができたのは、意味あることだった。

さて、これからの玉川まちづくりハウスが目指すのは、コミュニティ・デモクラシーの実践とそれに基づいた熟議民主主義によるミニ・パブリクス革命の一端を担うことだと考えている。そのアイデアを膨らませる様々なヒントがこの展示会には散りばめられている。

*建築家、自然エネルギーを取り込む環境共生可能な建築を多く手がけた。貴重な住宅建築の保存・継承を目指す「住宅遺産トラスト」の初代代表理事

街角保健室 より

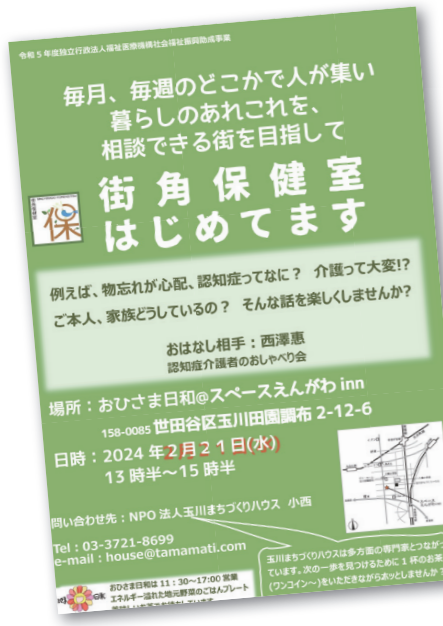
今年度取り組んできた街角保健室プロジェクトは、年間の模索の結果、玉川田園調布 2-12-6 の Space えんがわ inn を会場に、3つの街角保健室が動き出すことになりました。

● 原則第3水曜日 13時半～15時半 (3月は13日第2水曜日開催です。)

エネルギーあふれたお野菜たっぷりのごはんプレートを提供する「おひさま日和」のテーブルをひとつをお借りし、認知症に関することからさまざまな話を聞いてくれる西澤恵さんの日。

● 心理カウンセラー 勝俣さんが、話すことで自分がなぜモヤモヤしているのかをストン！と確認できる時間を提供してくれます。次回は3月24日(日)。抹茶と美味しいお菓子を提供してくれる福井宗陽さんの「SpaceB」に協力いただいています。

● ご自身の体験から、ヤングケアラー、ダブルケアラーの方たちが集える場所を作ろうとはじめる梅田由香さんのハートフル『kotori』サロン 2/29に始まります。



どれもまだ生まれたばかりですが、誰もがフラッと来て、お茶飲んでゆっくりして、心がすっきりしたり、軽くなったりする場になればいいなと思っています。ぜひのぞいてみてください。

「街角保健室」プロジェクト実行委員会

- ・九品仏あんしんすこやかセンター
- ・輝水会 (レジリエンス・スポーツ)
- ・玉川まちづくりハウス (コミュニティデザイン)
- ・ふくろうクリニック自由が丘 (地域医療)
- ・オフィス侑 (ファイナンシャルプランナー)

毎月、毎週、まちのどこかで人が集い、暮らしの心配事を聞いてもらえる場所のあるまちを育てていきましょう！



暮らしのつばやき 3月

「夜明けのすべて」

「夜明けのすべて」というタイトルの映画を見ました。同名の小説が原作で、日本の小さな会社が舞台の穏やかな映画です。久しぶりに映画館に行ったのですが、これは家ではなく、他の音やチャイムや携帯に邪魔されない空間で観られてよかったな、と思うような体験でした。

ずっと丁寧で、穏やかで、映画の中で起こることを信頼できる感覚になりました。おすすめです。

玉川まちづくりハウスニュース



流水の作られ方

北海道の知床は、世界で一番緯度が低いところで流氷が見られる地域なのだそうです。

その理由は、オホーツク海にアムール川から大量の真水が流れ込み、塩分濃度が下がるから。そこにシベリアからの冷たい風が吹きつけて海が氷り、それが色んな島や大陸に囲まれて海水が循環しづらいオホーツク海の冷たい水に運ばれて北海道までやってくるのだ、と教えてもらいました。地球は一つで海も繋がっていることに気づかされました。

地域 GAYAGAYA

地域の動きや、話題を地域の方々に手伝っていただけて紹介していくコーナーです。



地域の歴史を辿る
その 16

第16回 神社の合祀について

今回は明治時代の末期に起きた歴史についてのお話し。江戸時代、奥沢の区域は元からあった「奥沢本村」と江戸時代前期に開拓された「奥沢新田村」とに分れていました。それが、明治9年(1876)になると合併して「奥沢村」となりました。

この元奥沢本村には村の鎮守様として「子安稲荷神社」があり、また元奥沢新田村には、世田谷吉良氏の家臣の大平氏が奥沢城を築くにあたり世田谷東部の守護神として八幡神を勧請したと伝わる「八幡神社(はちまんじんじゃ)」がありました。そして、元等々力村飛地の諏訪分(現在の東玉川)には「諏訪神社」がありました。

右図の○がそれぞれの神社の場所を印したものです。さて、明治末期になると明治政府は「神社合祀政策」を押し進めます。この神社合祀の目的は、神社の数を減らし、残った神社に経費を集中させることで、一定基準以上の設備・財産を備えさせ、神社の威厳を保たせて、神社の継続的経営を確立させようとしたものです。そして、地方自治政策の一環として、地方の自治は神社を中心に行われるべきという考えの神社中心説が合祀政策に盛込まれたことによって、「一町村一神社」の基準があてはめられることになりました。

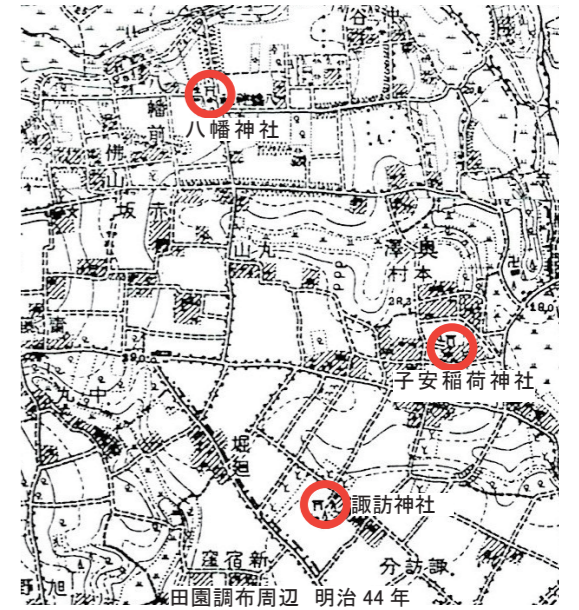


子安稲荷神社跡の石碑

明治41年(1908)11月、諏訪分にあった「諏訪神社」は等々力の「熊野神社」に合祀されました。熊野神社は、この時村内にあった天祖神社と御嶽社も合祀して「玉川神社」と改名しています。

翌明治42年(1909)10月には、奥沢本村にある「子安稲荷神社」が奥沢新田村の鎮守であった「八幡神社」に合祀され、跡地は奥沢子安公園となりました。八幡神社は大正初期に「奥澤神社」と改名しています。この神社合祀政策により、全国で約20万社あった神社の内7万社が取り壊されたそうです。

奥沢地誌保存会・染野和夫



奥沢神社現拝殿



玉川神社拝殿



文字で感情を伝える

メールやSNSが一般的になって、他者と会話するときに文字で会話することが増えたと感じます。それと同時に、強く感情を表す言葉を使うのが怖い、と思うことが増えました。

口に出した音なら、ニュアンスが込められたり残らないので、今は違う気持ちであることを後から伝えやすいのですが、文字に残ると、特にネガティブな感情はそこに残って、変に育ったりもします。音と文字は違うものだ意識して使って行かねばと考えています。



節分

歳の数だけ豆を食べる、をやろうと思ってコンビニで豆を買ってきたはいいものの、その後残った豆をどうしようか考えていませんでした。

そんな時に、はちみつに浸すと美味しいというのをネットでみかけてやってみました。

はちみつナッツ、とまではおしゃれにならなくても、小腹が空いたときにちょうどいいくらいのおやつになって、美味しかった。です。次食べるのはまた一年後でしょうか。(貴)